

訪問介護における生活援助中心型サービスの届出について

小山市 地域包括ケア推進課

平成30年10月より、訪問介護における生活援助中心型サービスについては、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用の観点から、通常の利用状況からかけ離れた利用回数となっているプランについては、市町村への届出が義務付けられ、そのケアプランについて市町村が地域ケア会議の開催等により検証を行うこととなりました。

＜支援基準第13条 18号の2＞

「介護支援専門員は、居宅サービス計画に厚生労働大臣の定める回数^{以下}以上の訪問介護（厚生労働大臣が定めるものに限る。以下この号において同じ。）を位置付ける場合にあっては、その利用の妥当性を検討し、当該居宅サービス計画に訪問介護が必要な理由を記載するとともに、当該居宅サービス計画を市町村に届け出なければならない。」

厚生労働省で定める回数を位置付けた場合
(例: 要介護1の場合27回)も届出対象です！

◆ 厚生労働省の定める回数

介護状態区分に応じてそれぞれ1月あたり下記の回数となります。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
27回	34回	43回	38回	31回

◆ 対象となる訪問介護

生活援助が中心である、指定訪問介護。

→ 掃除、洗濯、買い物、調理等家事援助全般を指します。

※ 身体介護や生活援助と身体介護を組み合わせている場合は該当しません。

◆ 提出書類

- ・ 訪問介護（生活援助）利用回数超過届出受付書
- ・ 居宅サービス計画書（第1表～第3表）
- ・ サービス担当者会議の要点
- ・ 居宅介護支援経過

◆ 提出について

一定回数以上の訪問介護を位置付けた居宅サービス計画を作成又は変更した月の翌月末までに地域包括ケア推進課へご提出ください。